

様式1

令和7年度 第2回学校運営協議会報告書

学校名	鳥取県立米子白鳳高等学校
開催日時	令和7年11月5日 15時30分から16時30分まで
会 場	鳥取県立米子白鳳高等学校

(1) 学校長挨拶

(2) 学校目標に対する取組について

- ア 社会人講師・学校独自(定通教育充実)事業について (教頭) 【資料1】  
 イ 進路状況について (教頭) 【資料2】  
 ウ 生徒支援の取組について (教頭) 【資料3】  
 エ 自己評価表(中間評価)について (教頭) 【資料4】

アからエの項目について資料を用いて説明、質疑等はア:通信制校外研修(松江方面)の生徒の参加・活動状況など、ウ:通級指導の希望者数、指導内容、中学からの継続や紹介方法など、エ:地域の活動を通じて生徒の成長が見られるなどの意見があった。

(3) 教育活動における取組改善のための提言について～特色ある学校運営について～

委員 地域社会と連携した体験活動に取り組んで欲しい。地域の困り事を解決するような活動やイベント運営を学校とともに取り組むことができないか。

委員 コロナ禍の修学旅行で県内観光地を巡った時に、鳥取砂丘などに行ったことがない生徒が多かった。県内にもいいところがたくさんあるので、県内観光地を校外学習の候補にしてはどうか。

(4) 取組の改善に向けて～質疑応答～

委員 継続的な交流で、生徒も園児も成長が見られる。園児が高校生との活動を楽しみにしており、交流の様子は保護者にも伝わっている。淀江地区全体が高められる活動となるきっかけになればと思う。

委員 淀江地区のアートや歴史、郷土の宝に触れるイベントに学校の協力をいただき感謝している。学生だけではなく社会に出た人にも門戸を開いていただき感謝している。参加者も学芸員も喜んでいて。学校では一人ひとりに合わせた教育を行っているといつも感じている。

委員 生徒が落ち着いて勉強に取り組んでいると感じている。定時制は地域との関わりを大事にした活動がたくさんある。通信制はスクーリング時の学習量が膨大であるため、体験的な活動を行う時間が少なく感じる。通信制の生徒にも楽しい活動に参加できるような工夫はないだろうか。

委員 淀江地区は優れた人材が多い地域であるが、近年スポットが当たらなくなっている。生活に必要な技術を習得したり、何か話を聞いてみたいなど、地域の人材を使いたいということがあれば公民館に問い合わせをして欲しい。

質疑等はなし

(5) その他

○第3回学校運営協議会 令和8年1月24日(土) 定時制学習発表会に合わせて開催

○定時制課程人権教育公開 LHR 令和7年11月14日(金) 別紙案内文書 申込受付中